

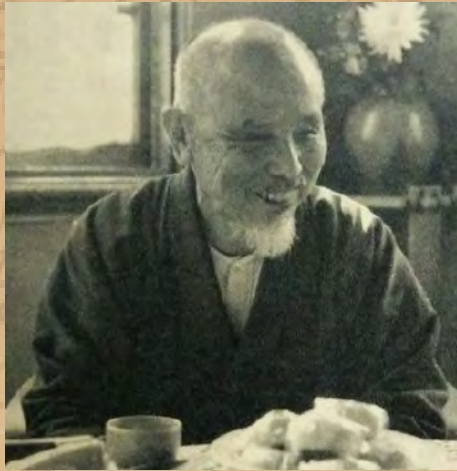
収蔵作品を中心に

# 青木繁・坂本繁二郎と

# 梅野三代展



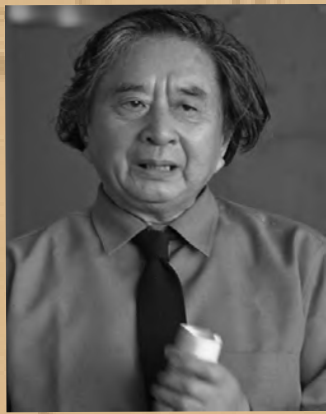
青木 繁



坂本繁二郎



梅野満雄



梅野 隆



梅野 亮

2020年2月15日(土) ~ 3月27日(金)

開館時間 午前9時30分~午後5時  
休館日 毎月曜日(祝日の場合 翌火曜日)  
入館料 600円(団体500円) 中学生以下無料

東御市梅野記念絵画館

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL0268-61-6161 FAX 0268-61-6162

## 「青木繁と梅野三代」展

青木繁をして「君が命の糧であった」と言わしめた梅野満雄との友情。青木繁没後、私財を投げうって青木繁作品の散逸を防いだ梅野満雄の英断。昭和14年、青木繁作品を専有することの危険を悟り、坂本繁二郎の仲介のもとに石橋家に委ねた梅野満雄の第二の英断。

時代は移り、「美よ、私の中に息づけ」と願い、美術研究・蒐集の道に身を投じた、梅野満雄の長男梅野隆の業績。さらに、父・隆から巣立ち、表現者(画家)としての道を歩んでいる梅野隆の長男・梅野亮に至るまで。青木繁を核として梅野三代との宿命とも言える相関図、その流れを辿ります。

さらにまた、青木繁を生涯を賭けて克服すべきライバルとし、画家としての自己を形成していく坂本繁二郎、それを支援する梅野満雄。強い絆で結ばれた三人の交友を追います。



梅野木雨 ライン河畔



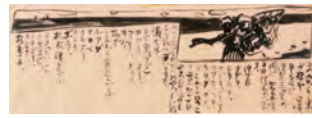
梅野木雨 我が夢の風景



梅野亮 自画像



梅野亮 桌上静物園



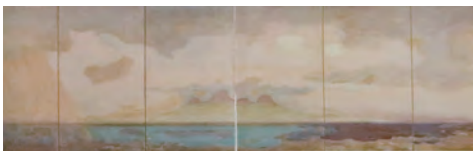
青木繁 房州絵入り書簡



青木繁  
わだつみのいろいろの宮(複製)



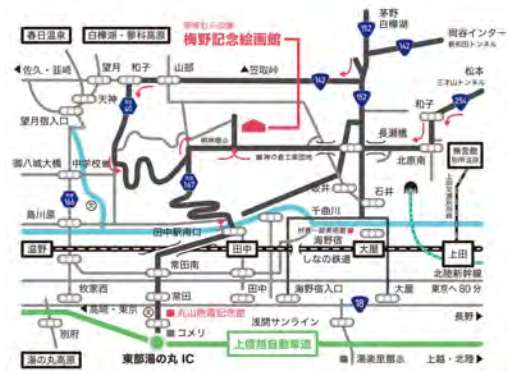
坂本繁二郎 雲仙の春 (複製) 屏風



坂本繁二郎 阿蘇の秋 (複製) 屏風

赤い矢印のルートをお通り下さい。

東部湯の丸インターまでの距離  
高崎98Km / 練馬167Km / 長野36Km / 新潟242Km



### <関連行事>

2月16日(日) オープニング講演会

13:00~15:00

3月8日(日) 青木繁と梅野家を語る座談会

13:00~15:00

### <アクセス>

お車 練馬ICから約2時間半

関東・北陸方面 上信越道 東部湯の丸ICから15分

中部・関西方面から 長野道岡谷ICからR142号線経由で約1時間

鉄道 東京から2時間 しなの鉄道「田中」駅からタクシー15分

関東・北陸方面から 北陸新幹線「上田」駅でしなの鉄道乗換田中下車

中部・関西方面から 特急しなの号「篠ノ井」駅でしなの鉄道乗換田中下車